

平成25年度

単位施策評価表

所属 22100000

保健福祉部 社会福祉課

施策	4201 総合的な福祉サービス提供体制の構築						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	発達障がい者等						
単位施策目的	総合的な福祉構築のための基礎づくり、相談窓口の設置や専門職の充実、医療機関・教育機関・就業斡旋機関等との連携強化等を図る。						
成果指標	発達障がい者等巡回相談率						
目標達成状況	成果指標1 [ % ]	予定	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		実績	49.00	54.25	59.50	64.75	70.00
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績	64.23				
	成果指標3 [ ]	単位コスト					
		予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	単位コスト					
		予定					
		実績					
トータルコスト (千円)	予定	128,187			0	0	
	実績	85,056			0	0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「障がい者に対する支援満足度」を70%に向上させるためには、障がい者に対する相談支援施策が重要であるため、本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	巡回相談率は成果目標を達成し相談支援事業の強化充実は図られてきているが、関係機関への巡回相談件数は目標に達していない。					
	課題	巡回相談から繋がった面接や検査等のケースは増加しているが、巡回相談件数は減少している。					
	取組方針	専門的なアセスメントに基づき、関係機関との連携を図りながら、ニーズに合わせた対応を行なえるよう支援体制を整備しライフステージに合わせた継続的な相談支援を行う。					
外部評価	<p>成果指標の目標である発達障がい者等巡回相談率は上がっているが、巡回相談だけでなく、例えば、戸別訪問による相談などきめ細かな方法で相談に応じることが必要である。</p> <p>こども発達支援センターを拠点として関係機関の横の連携を密にするとともに、地元情報に精通する民生委員等の協力を得て情報収集に努め、実態を把握することが必要である。</p> <p>発達障がい者を含めた障がい者等と市民とのふれあいの場を設け、市民が障がいに対する理解を深める機会を増やすことが必要である。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	200201	地域福祉啓発事業費				2,501	100
	203301	就学前障がい児等発達支援事業費				15,951	100
	203101	発達障がい者等相談支援事業費				16,724	21
	203206	健康福祉課一般経常事務費(岩舟)					0
	203501	こども発達支援センター管理運営費				49,880	0
	708201	大平地域福祉センターふるさとふれあい館四阿改修事業費					0



事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	203101	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	発達障がい者等相談支援事業費												
担当部署	保健福祉部 社会福祉課 発達支援担当												
係・担当サー・ム名	担当者 廣根光里												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等										

事業の概要	<p>(事業完了) (事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 達成目標</p> <p>支援を必要とする人を中心に、「医療」「保健」「福祉」「教育」等の部門の別にとらわれず、発達障がい者等が抱えるような各支援機関の横断的な調整を図り、その人のライフステージや特性に合わせた支援が提供されるよう、一貫した継続的な支援を行う。</p> <p>【主要事業】</p>											
事業の概要	<p>(事業完了) (事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 達成目標</p> <p>発達障がい者等巡回相談率</p>											

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算員込
国庫支出金	4,687	2,654
県支出金	0	1,327
地方債	0	0
その他特財	0	875
一般財源	9,465	9,993
事業費 a	14,152	14,849
人件費 b	1,875	1,875
減価償却費 c	0	0
総事業費 a+b+c	16,027	16,724
結果指標 1	59.00	20.00
結果指標 2	495.00	239.00

事業費・指標の推移	事業の内容	その成果
事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔週火曜日 支援協力者会議実施</li> <li>関係機関との情報共有化</li> <li>支援協力者研修(支援者の資質向上)</li> <li>巡回相談(幼保小中学校)実施</li> <li>発達障がいに関する研修会開催</li> <li>発達に関する相談、検査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2火曜日 支援協力者会議実施</li> <li>関係機関との情報共有化</li> <li>支援協力者研修(支援者の資質向上)</li> <li>巡回相談(幼保小中学校)実施</li> <li>発達障がいに関する研修会開催</li> <li>発達に関する相談、検査の実施</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援協力者会議付議件数...14回</li> <li>巡回相談件数...397回</li> <li>495件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援協力者会議付議件数...9回</li> <li>巡回相談件数...78回</li> <li>239件</li> <li>放課後巡回支援教室...105人</li> </ul>

事業改善計画	<p>(改善内容とその効果を具体的に記入)</p> <p>様々なケースを支援するため、関係機関との連携を図った支援体制作りを行なう。関係機関との連携を図り、また支援者の資質向上のための研修会等を開催する。平成25年度より開始した、職員がお子さん1対1で行う放課後巡回支援教室に加え、平成26年度より、小集団のグループで行うこともサポート(対象：未就学児、学齡児、中高生)を実施する。</p>
--------	---

事後評価	<table border="1"> <tr> <td>事業の事後評価</td> <td>妥当性</td> <td>妥当</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>無</td> <td>受益者負担</td> <td>適正</td> <td>上位貢献度</td> <td>有効</td> <td>類似事業の有無</td> <td>無</td> <td>成果向上の余地</td> <td>有</td> </tr> </table>	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		

